

## 新人看護職員研修プログラム

### 目的

- 看護部で期待される役割を理解し、組織人（社会人）としての自覚と責任を培う
- 基礎看護技術を安全に、確実に実施できるよう知識と技術を習得する
- 同期入職者と交流し、仲間意識を培い共に支え合う

日時	集合研修	部署内研修	部署内の支援と評価
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入職員オリエンテーション</li> <li>看護部の理念、方針、看護部組織</li> <li>看護倫理・患者の尊厳</li> <li>個人情報の取扱い・守秘義務</li> <li>看護部の教育体制</li> <li>看護記録・看護必要度(概論)</li> </ul> <p>医療安全管理 患者誤認防止策・誤薬防止 転倒転落防止策 減菌物の取扱い 感染予防看護 薬物療法の看護 点滴静脈内注射の看護 静脈採血 検体の取扱い 針刺し事故防止 輸血の看護 輸血中と輸血後の観察 輸液・シリジングポンプ使用中の看護</p>	<p>技術チェックリストに沿って、看護技術知識の習得をサポートします。</p> <p>先輩看護師と一緒に動きながら、一日の流れや実際の看護を学びます。</p>	<p>オリエンテーション(所属長)</p> <p>学びノートを活用して日々の学びを記録していきましょう。</p> <p>新人研修で学んだ事を先輩の指導のもと部署で実践します。</p>
5月	<p>採血</p> <p>看護記録委員会研修</p> <p>看護必要度委員会研修</p> <p>認知症ケア研修</p> <p>褥瘡・排泄対策委員会研修</p>	<p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>師長面談</li> <li>1か月の振り返り</li> <li>技術チェックリストの確認</li> </ul> <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3か月の振り返り</li> <li>クリニカルラダーの確認</li> <li>技術チェックリストの確認</li> </ul> <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>半年の振り返り</li> <li>クリニカルラダーの確認</li> <li>技術チェックリストの確認</li> </ul> <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年の振り返り</li> <li>クリニカルラダーの確認</li> <li>技術チェックリストの確認</li> </ul>	
6月	<p>多重課題の考え方</p>		
7月	<p>リフレッシュ研修</p>		
9月	<p>メンバーシップ研修</p>		
11月	<p>ナラティブ研修</p>		
12月	<p>フィジカルアセスメント follow up</p>		
2月			

### クリニカルラダー制

	レベル I (卒1~2)	レベル II (卒2~3)	レベル III (卒3~5)	レベル IV (卒5~8)	レベル V (卒8~)
実践	基本的な看護手順に従い必要な助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	看護の受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測判断を持ち看護を実践する	より複雑な状況に置いてケアの受け手にとって最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
役割	自己の目標を持ち取り組める	後輩の相談役となり先輩との橋渡しができる	状況を判断しリーダー役割が担える	部署内の人材育成に取り組める	部署内の課題解決・目標達成に向けて自ら行動できる
学習	看護師として期待される行動ができる	自己課題を解決するための行動ができる	自己成長を目指し、学習課題を挙げ、取り組める	良好な対人関係の中で他者と関わることができる	他者のやる気を導き出す働きかけができる
現人教育	ケーススタディ 気管内挿管介助 抹消静脈留置針挿入 リセプター研修	院内留学 リーダーシップ	人材育成	管理基礎 「組織論」「人材育成」「看護管理」「看護と経営」	マネジメント研修

看護部主催：看護必要度評価、対人関係能力、地域包括ケア、看護研究発表会、救急対応研修ほか  
病院主催：医療安全、AED、論理、接遇、院内研究発表会、感染対策ほか

※院外研修（看護協会、全国自治体病院協議会、各学会など）もあり

